

優良賞

僕たちの暮らし

真鶴町立まなづる小学校五年 大山 龍斗

真鶴町は小さな町ですがとても平和な町です。なぜなら、みんなが助け合う気持ちがたくさんあると感じたからです。それは、福祉のことについて勉強したことで分かりました。

僕が、福祉について分かったこと学んだことは二つあります。

まず一点目は、福祉に関係ある物が身近にあるということです。調べてみると真鶴町の中でも見つけることができました。「点字ブロック」は、お年寄りや目の不自由な人のためにあるものです。これがあることで安全に歩くことができます。

「オストメイト用のトイレ」は、病気にかかった人のためのトイレです。「ヘルプマーク」は、はいりよを必要としている方々が使います。僕は、「ヘルプマーク」のことは、初めて知りました。

二点目は、お年寄りの方々を見守ってくれる人がいるということです。真鶴町には、「ミモザ」というお年寄りの方々がかようなところがあり、そこでお仕事をする人からお話を聞くことができました。そのお話から、ミモザの方々がお年寄りの方達をせいいっぱいサポートしてあげていることが分かりました。ミモザの方達はいつも歯を食いしばりながらお年寄りの人達を平和な一日にさせているのがかっこいいと思ったからです。すごくやさしくて励ましていた声かけでした。

三点目は、「パラスポーツ」という福祉のスポーツについてです。僕は、「ブラインドサッカー」を初めて知りました。「ブラインドサッカー」は、目かくしをしてやります。僕は、それを知ってびっくりしました。

このことを通して分かったことは、福祉はとても大切なことと地域の人達や自分達で助け合い力を合わせて生活を送っていくということです。

これから僕は、みんなで助け合える真鶴町になるように自分ができることをがんばってしていきたいです。